

これまでの一般質問での回答を 踏まえての来年度の予算及び 事業計画について



質問者
北村 和士 議員



【質】昨年9月に「松田町

は情報発信を強化する」と

と答弁頂きました。来年度

予算は特に子育て世代

にとって魅力的であり、

定住や移住の促進にもつ

ながると期待しますが、

どんなに魅力的でも伝わ

らなければ効果はありません

せん。予算成立後の情報

発信は？

【答】町内へは、松田町公

式LINE（登録者数

3280人）、地域座談

会や懇談会など。町外へ

はインスタグラム等や記

者クラブへの情報提供、

移住フェスタや小田急

ファミリーファンフェス

タへ積極的に参加し、PR

していく。

【質】昨年9月に「人財バ

ンクの活性化のために、

登録者の紹介動画を掲載

し、広報を強化する」と

答弁頂きました。その後

は？

【答】人財バンクの利用実

績がないため、コミュニ

ティスワールの導入に合

わせ、学校二にズに応じ

た活用を進める方針にす

る。紹介動画は今後も検

討する。

【質】登録者との信頼関係

を維持するためにも、方

針変更の際には丁寧な説

明が必要です。また、ス

クールコーディネーター

の今後の役割を教えてください。

【答】コーディネーターが

学校と地域の二にズを把

握し、人財バンクに限ら

ず、地元の方が活躍でき

る仕組みを構築する。

【質】昨年12月に「小1の

壁対策のために4月から

小学校の7:15開門を行

う」と答弁頂きました。

見守りスタッフの人員配

置は？

【答】松田小学校に2人、

寄小学校に1人を配置予

定。

【質】周辺自治体では初の

取組みで、保護者からの

期待も大きい事業です。

継続的な支援をお願いし

ます。

【答】挑戦する姿勢を大切

にし、積極的に取り組ん

でいく。

【質】小学校の7:15開門は

予算化、その他も含めて

積極的に取り組んでいく

回答（町長）



災害対応強化のための 施策を問う



質問者
南雲 まさ子 議員



【質】ゲリラ豪雨や大型台

風の浸水被害に備えるた

め、土のうステーション

を設置するお考えは。

【答】住民が自由に土のう

を使える土のうステー

ションの設置は、各自主

防災会のご意見やご要望

を確認して対応していく。

【質】大規模災害発生時、

職員の手を借りずに避難

所を開設できるファース

トミッションボックスを

設置するお考えは。

【答】ファーストミッショ

ンボックスを各自主防災

会へ設置することは有効

と考えるため、今後必要

性を確認し対応していく。

【質】東日本大震災・熊本

地震・能登半島地震では、

災害関連死が直接死を上

回り、災害関連死を最小

にする、積極的に取り組ん

でいく。

【質】周辺自治体では初の

取組みで、保護者からの

期待も大きい事業です。

災害対策の 対応強化を 進める

回答（町長）



土のうづくり

400張りを受領予定であり備蓄品の充実が図られる。またこれから導入されるセントラルキッチンで、1日1回の温食を提供し避難者の気力を上げていく。段ボールベツトは事業者と協定を提携するなど、マットと共に活用し足をのぼしていられる場所の確保をしていく。女性の視点での避難所の対応は、避難所設営・運営を60%以上の女性職員で運営していく、避難所運営が避難者主体にシフトされても女性を配置していく等環境向上に努める。